

①「エンジン」教職員集団(チームワーク)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○職員室の雰囲気明るく、笑い声や笑顔が絶えない

○相互に話しやすく、気兼ねなく質問できたり教えてもらえたりする

○協力体制が整い、情報共有ができています

○職員相互の信頼関係のさらなる強化

○児童の成長を願い様々な立場から語り合える「意義ある雑談」(“ワイガヤ職場”)の推奨・継続

○学年部、職種を超えた目配り、気配り、心配り

②「ハンドル」(アクセル・ブレーキ) 学校運営(共通のビジョン)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○学習指導、生徒指導、学校運営のバランスをとりながら真摯に励む

○自己を省察するとともに、学校評価結果に真摯に耳を傾け、改善しようとする

○「答えは一人一人の職員の中にある」思いを受け止め、チャレンジすることの後押し

○管理職の「危機管理はトップダウンで、平時はサーバントリーダーシップで」のぶれないスタンス

③「前輪(左)」生徒指導(仲間づくり・絆づくり)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○明るく人懐っこく、意欲的に取り組める

○素直で規範意識をもちグッドモデルを取り入れながらまじめに取り組む

○どの子も優しくて穏やか、落ち着いている

○強みを見出し、信じて任せ、認めて伸ばす意識の共有とアンガーマネジメント

○凡事徹底(「時を守り、場を清め、礼を尽くす」など)とめりめりのある指導、タイムリーな価値づけ

○安心・安全、穏やかに過ごせる学校づくり

④「前輪(右)」学習指導(授業づくり)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○どのクラスも落ち着いて学習に臨める(担任の指導の積み上げが背景)

○すべての職員が上記を支え、真摯に職務に向き合う

○「授業がわかる(わかった)、できる」ための、ねらいの絞り込みと明快な授業展開

○「勉強っておもしろい」と感じるためのファシリテーターとしての教師の役割の認識

○生徒指導の三機能(自己存在感の醸成、共感的な関係の育成、自己決定の場の創出)を生かした授業づくり

⑥「後輪(右)」家庭との連携(生活・学習習慣形成)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○保護者が学校に寄せてくださる関心が高い

○多くの保護者が穏やかで協力的

○保護者同士お互いに顔見知りが多い

○成果も課題もフランクに語り合える、保護者との連携の日常化

○解決すべき課題の速やかな共有と、Face to Faceを基盤とした相互理解

⑦「内装インテリア」学習環境(心身ともに快適な空間)

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

○広々とした校舎、校地、美しい環境の下で教育活動を展開できる

*美しい芝生の校庭
*校地を流れる佐々布川
*B&Gでのプール学習
*きれいで快適なトイレ
*多用途のワークスペース

○友達との関係を深め、よく遊び、よく学ぶしんじゅ子

○「先生が好き」、「友だちが好き」、「クラスが好き」と思える信頼関係のさらなる構築

*一緒に遊ぶ
*傾聴、共感、受容
*相談しやすい関係性…

⑧「外装(ポティ)」学校文化(特色ある学校) ~外から見た学校の様子~

宍道小の強みはここ!

さらに伸ばすために

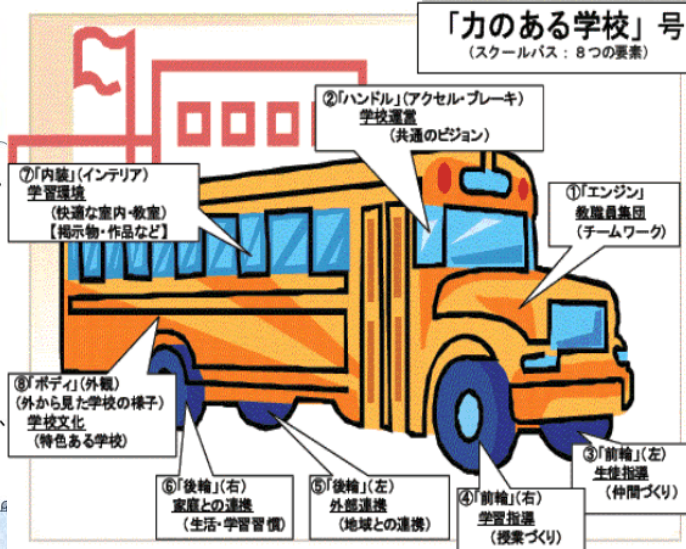
○自然と歴史に彩られたふるさと宍道ならではの教育が展開できている(学年に応じたふるさと学習・総合的な学習の時間、野外活動…)

○地域の方に下記を実感していただくための取組を強化

*子どもを伸ばすには地域の素材を活用した取組が大切
*そのために、今こそ地域住民の力が求められている

「力のある学校」号

(スクールバス: 8つの要素)



⑦「内装」(インテリア) 学習環境 (快適な室内・教室) 【掲示物・作品など】

②「ハンドル」(アクセル・ブレーキ) 学校運営 (共通のビジョン)

①「エンジン」 教職員集団 (チームワーク)

⑥「ポティ」(外観) (外から見た学校の様子) 学校文化 (特色ある学校)

⑥「後輪」(右) 家庭との連携 (生活・学習習慣)

⑤「後輪」(左) 外部連携 (地域との連携)

④「前輪」(右) 学習指導 (授業づくり)

③「前輪」(左) 生徒指導 (仲間づくり)